

令和2年度（2020年度）版 みんなと学ぶ 小学校国語 年間指導計画作成資料 【1年】

各ページとも、表形式で示している。上部に表組みの項目を置いてあるので、それによってご覧いただきたい。

■月…目安としての配当月を示した。（ ）内には、その月の合計時数を付している。

■単元・教材名、時数、指導目標

・単元・教材名…単元番号及び単元名・教材名を示した。

・時数…単元や教材のまとまりごとの時数を示した。

例：2時間（知技①書①）…知識及び技能1時間、書くこと1時間の配分を示す。

・指導目標…単元及び教材を通して育成したい資質・能力をまとめ、目標として示した。

※学習指導要領に示した指導事項についての表示方法は以下の通り。なお、重点指導事項には下線を付している。

〔知識及び技能〕

(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項

(2)…情報の扱い方に関する事項

(3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・表現力・判断力等〕

A…話すこと・聞くこと

B…書くこと

C…読むこと

■主な学習活動…単元及び教材の主たる学習活動を示した。傍らにある数字は、学習の順序を想定したものである。

■評価規準…学習活動に即した評価規準を以下の三つの観点で示した。指導事項の確実な育成を図るという観点から、文言については今後変更する可能性がある。

表示方法については以下の通り（言語活動例においても同様）。

【知識・技能】…「知識及び技能」の観点及び、学習指導要領や学習活動との対応

【思考・判断・表現】…「思考・判断・表現」の観点及び、学習指導要領や学習活動との対応

※冒頭には、例えば「読むことにおいて」など、領域名を明記している。

【主体的に学習に取り組む態度】…「学びに向かう力、人間性等」のうち、観点別評価を通じて見取ることができる部分である「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている側面や、自らの学習を調整しようとする側面を一体的に見取ることが想定されている。

本資料は、令和元年（2019年）9月10日版です。

単元ごとの目標、主な学習活動、評価規準などは、今後変更することがあります。予めご承知おきください。

年間指導計画案(1年上巻)

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
4月 (17)	どういおうかな 2時間(話聞②) 教科書:1上pp.2～3 ◇お互いの話をよく聞いて話を つなぎ、相手や場面に応じて適 切な言葉遣いで話すことができ る。〈知技:(1)キ、A:(1)オ〉	1 絵を見て、何をして、どんな話をしている場面な のかを出し合う。 2 それぞれの場面に合った言葉や動作を考え、 友達と話し合ったり、全員の前で発表したりする。 3 相手や場面によって言葉遣いが違ってくるこ とを確かめる。	●知識・技能 ・相手や場面に応じて適切な言葉遣いで話して いる。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手を見ながら 互いの話に関心をもって聞き、それぞれの場面 にふさわしい言葉を考えながらやりとりをしてい る。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・今までの経験を思い出しながら、それぞれの場 面にふさわしい言葉を進んで考え、話そうとして いる。
	おなまえおしえて 1時間(話聞①) 教科書:1上pp.4～5 ◇相手が読みやすいように自分 の名前を丁寧に書き、互いに自 己紹介をし合うことができる。 (知技:(1)ウ、A:(1)エ、オ)	1 教科書の絵を見て、自分の名前を書いて自己 紹介し合うことを知る。 2 自分の名前を平仮名で名前カードに書く。 3 名前カードを友達と見せ合い、好きな色やもの などを言うとともに、仲良くなってほしい気持ちを 伝える。	●知識・技能 ・自分の名前を平仮名で丁寧に書いたり、友達 の名前をはっきりと声に出して読んだりしている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、自己紹介するた めに好きなものなどを思い出して話し、お互いに 関心をもってやりとりしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・名前カードを丁寧に書き、進んで友達と交流し ようとしている。
	おはなしききたいな 2時間(知技①読①) 教科書:1上pp.6～7 ◇本の読み聞かせを、様子を想 像しながら楽しんで聞き、読書に 興味をもつことができる。〈知技: (3)エ、C:(1)エ、(2)イ〉	1 絵を見て、今までに読み聞かせをしてもらった ことのある作品について出し合う。 2 教師が選んだ本の読み聞かせを聞き、思ったこ とを言う。 3 好きな本を選んで、教師に読んでもらう。 4 登場人物や出来事など、お話の内容について 教師の説明を聞く。	●知識・技能 ・読み聞かせを通して物語の世界を疑似的に体 験することで、読書に興味をもつことができる。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、読み聞かせを具体的に想 像しながら楽しんで聞き、思ったことを話してい る。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・絵本に興味をもち、お話の内容を想像して楽し もうとしている。
	みんなであいうえお 2時間(知技②) 教科書:1上pp.8～9 ◇姿勢や口形などに気を付け て、母音や母音から始まる言葉 を正しく発音することができる。 (知技:(1)イ、ウ)	1 写真を見て、姿勢を確かめるとともに、声を出し た時と息をはいただけの時との、のどのふるえの 違いに気付く。 2 写真を見て、母音を発音する時の口形を確か め、友達とペアになって声を出し合う。 3 拍手をするなどして拍を確かめながら、母音か ら始まる言葉を正しく発音する。	●知識・技能 ・姿勢や口形などに気を付けて、「あ・い・う・え・ お」を発音している。 ・平仮名の文字と発音を一致させ、拍(1音1文 字)を意識して読んでいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・姿勢や口形に注意して、進んで母音を発音しよ うとしている。
	おおきくちいさく 2時間(話聞②) 教科書:1上pp.10～11 ◇場面に応じた声の大きさを考 えながら話すことができる。〈話 聞:(1)ウ〉	1 絵を見て、四つの場面ごとにどんな声の大き さで話しているかを考える。 2 場面ごとに「声の大きさ」を参考に、実際に声 を出してみる。 3 場面に応じた声の大きさについて話し合っ てまとめる。	●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、場面に 応じて適切な声の大きさを考えながら話してい る。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで場面に合った大きさの声を出そうとして いる。
	えんぴつをもって 3時間(知技③) 教科書:1上pp.12～13 ◇姿勢や鉛筆の持ち方に気を付 けながら、一画・二画・三画の平 仮名を書くことができる。〈知技: (1)ウ、ク、(3)ウ(ア)〉	1 写真を見て、姿勢や鉛筆の持ち方を知り、唱え 歌を唱えながら友達同士で確かめ合う。 2 線をなぞりながら、指先の力の入れ方を確かめ る。 3 指示された平仮名を丁寧に書く。	●知識・技能 ・平仮名を丁寧に書くとともに、文字には筆順が あることを理解している。 ・姿勢を確認しながら語のまとまりに気を付けて、 唱え歌を音読している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・姿勢や鉛筆の持ち方を意識しながら、進んで文 字を書こうとしている。
	となえうた 2時間(知技①読①) 教科書:1上pp.14～15 ◇リズムや場面の様子を楽しみ ながら、語のまとまり・口形・姿勢 に気を付けて音読することがで きる。〈知技:(1)イ、ウ、ク、C: (1)イ〉	1 手足でリズムをとったり体を動かしたりして、楽し みながら繰り返し音読する。 2 唱え歌で使われている各語の最初の文字が同 じ音であることに気付いたり、お話の場面の様子 について話し合ったりする。	●知識・技能 ・言葉のまとまりや文字と発音との関係を意識し て、口形や姿勢に気を付けて音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、楽しんで読みながら、場 面の様子などをもとに内容の大体をつかんでい る。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・語のまとまりや発音などに気を付けながら、進ん で音読しようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	えからみつけたよ 3時間(知技①話聞②) 教科書:1上pp.16～17 ◇絵を見ながら型に合わせて尋ねたり、質問に答えたりすることができる。〈知技:(1)㊦、A:(1)オ、(2)イ〉	1 絵を見て、見つけたことを出し合う。 2 ペアになって、提示された話型を参考に問答する。 3 尋ねる人は、話をつなげて「いくつ」「何をしている」など、思いついたことを自由に質問する。 4 問答の役割を交代したり、相手を変えたりして、繰り返し問答をする。	●知識・技能 ・主語と述語との関係に気を付けてやりとりしている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、提示された「問い」「答え」の話型で話し、聞いて理解したうえで話をつなげている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・話型に沿って話をつなげることを楽しもうとしている。
5月 (25)	どこがかわったかな 3時間(知技①話聞②) 教科書:1上pp.18～19 ◇絵を見ながら、違いを見つけてその理由を考えたり、どんなことを話しているのかを想像したりして、言葉で伝え合うことができる。〈知技:(1)ア、オ、A:(1)エ、(2)イ〉	1 ①の絵から、見つけたことを出し合う。 2 ①と②の絵とを比べ、変わったところやその理由を出し合う。 3 絵の出来事の中で、それぞれがどんなことを話しているのかを想像し、話し合う。	●知識・技能 ・絵を見て、身近なことや経験したことを言葉にして、語句を増やしている。 ・友達の話を聞いて、絵にある出来事を伝える言葉の働きに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、見つけたことや考えたことなどを伝え合い、話をつないでいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・見つけたことをもとに、進んで話し合おうとしている。
	ひらがなひろば 2時間(知技②) 教科書:1上pp.20～21 ◇発音や口形に気を付けて平仮名を声に出すとともに、五十音表の仕組みを知り、音節と文字との関係に気付くことができる。〈知技:(1)イ、ウ〉	1 五十音表を、行や段で声に出して読み、その仕組みを知る。 2 平仮名を、のぼしたり区切ったりして発音する。 3 平仮名を選んで言葉を作り、みんなで声に出して読む。	●知識・技能 ・はっきりとした発音と口形を意識して声に出している。 ・拍と表記の関係に気付き、言葉のまとまりに注意して読み書きしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・発音や口形、拍を意識して、進んで清音の平仮名を読もうとしている。
	・や・のつじ 2時間(知技①書①) 教科書:1上pp.22～23 ◇運筆に気を付けながら、濁音と半濁音を含む単語を書くことができる。〈知技:(1)ウ、オ、ク、B:(1)ウ〉	1 濁音や半濁音が含まれた単語を、一語一語唱えながら読み、丁寧に書く。 2 濁点や半濁点の付いていない単語との意味の違いを確かめる。 3 濁音や半濁音が含まれた詩を音読する。 4 濁音・半濁音の一覧表を見ながら、濁音や半濁音を含んだ短い唱歌や遊び歌を考えて書く。	●知識・技能 ・濁音や半濁音、撥音が含まれた言葉を語のまとまりに気を付けて音読したり、丁寧に書いたりしている。 ・濁点や半濁点が付くことで、言葉の意味が変わることに気付き、語彙を豊かにしている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、濁音や半濁音を含む唱歌や遊び歌を、語と語との続き方を考えながら書いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・濁音や半濁音などを含む語を、進んで読み書きしようとしている。
	ことばあそび 4時間(知技②書②) 教科書:1上pp.24～27 ◇言葉遊びを通して、言葉のもつ良さを実感するとともに、拍や字形に気を付けて平仮名を読み書きすることができる。〈知技:(1)ア、イ、ウ、オ、(3)エ、B:(1)ウ〉	1 しりとりややり方を確かめ、音数を意識しながらしりとり遊びを楽しむ。 2 挿絵を見ながら空欄にどんな文字が入るか考えてクロスワードパズルを楽しんだり、提出された平仮名を書いたりする。 3 「ためき言葉」の仕組みや解き方を理解する。 4 自分たちで「ためき言葉」などの言葉遊びを作って楽しむ。	●知識・技能 ・言葉の働きを意識し、音節と文字の関係を確かめたり、平仮名を正しく読み書きしたりしている。 ・語句の量を増やすとともに、言葉遊びを通して言葉の豊かさに関心している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、語のまとまりを意識して単語や文を書いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで言葉遊びを楽しみ、言葉のもつ良さに気づこうとしている。
	ともだちとはなそう 3時間(話聞③) 教科書:1上pp.28～29 ◇友達の話に関心をもち、相手に正確に伝わるように気を付けて話したり、聞いたことから話をつなげたりすることができる。〈知技:(1)ア、イ、カ、A:(1)ア、エ、オ、(2)ア〉	1 友達について知りたいことを質問し合うという学習課題を知り、聞いてみたいことを考える。 2 提示された話型を参考に、友達とペアになって話し合う。 3 ペアで尋ねる人を交代したり、ペアを変えたりして、話し合いを繰り返す。 4 友達の話し方や聞き方の良かったところを伝え合う。	●知識・技能 ・言葉には経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 ・相手に正確に伝わるように、主語と述語との関係を意識したり、発声や適切な音量に注意したりして話している。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、友達について知りたいことを決め、相手の話を落とさないように聞き、互いの話に関心をもって話をつないでいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・話し合いを楽しみ、進んで友達との話をつなげようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	にているじ 3時間(知技①書②) 教科書:1上pp.30～31 ◇形の似た平仮名に気づき、字形に気を付けて平仮名の文を書くことができる。〈知技:(1)ウ、オ、(3)ウ(イ)、B:(1)ウ〉	1 提示された平仮名を見て、どこが似ているかを友達と出し合う。 2 字形に気を付けて、提示された平仮名を丁寧に書く。 3 形の似ている字を五十音表から見つけ、それらを含んだ単語を使って文を作る。	● 知識・技能 ・字形に注意して平仮名を正しく書いている。 ・似ている字探しをきっかけにして語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ● 思考・判断・表現 ・「書くこと」において、形の似ている字を含んだ単語を使い、語と語との続き方に注意して文を作っている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・形の似ている字を含んだ単語を、進んで読み書きしようとしている。
	つまるおん 2時間(知技①書①) 教科書:1上pp.32～33 ◇促音を含む語の読み方と書き方を理解し、助詞「は」を使って主述の整った文を作ることができる。〈知技:(1)イ、ウ、カ、ク、B:(1)ウ〉	1 挿絵を見ながら、促音を含んだ単語を、文字と音節の関係を意識しながら読んだり書いたりする。 2 促音を含んだ詩を、語のまとまりやリズムに注意して音読する。 3 助詞「は」の使い方や句点の書き方に注意して、簡単な文を作る。	● 知識・技能 ・文字と音節の関係に注意して促音を含んだ言葉を読み書きするとともに、促音が付くことによって発音や意味が変わることに気付いている。 ・助詞「は」や句点に注意して、文の中で使っている。 ・語のまとまりに気を付けて、促音を含んだ詩を音読している。 ● 思考・判断・表現 ・「書くこと」において、助詞「は」を使い、語と語との続き方や主述の関係に注意して文を作っている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・促音の含んだ語を、進んで読み書きしようとしている。
	おはなしをよもうかえるのかさ 4時間(知技①読③) 教科書:1上pp.34～39 ◇文章や挿絵を見ながら、お話の大体を捉え、語のまとまりに気を付けながら楽しんで音読することができる。〈知技:(1)ア、キ、ク、C:(1)イ、(2)イ〉	1 題名からどんな物語か想像して興味をもつ。 2 挿絵を見ながら教師の範読を開き、お話の大体をつかむ。 3 語のまとまりに気を付けて全文を音読する。 4 人物の行動を想像しながら、役割音読など工夫して音読する。 5 ペアになって好きな場面を音読し、感想を伝え合う。	● 知識・技能 ・事物の内容を表す言葉の働きに気付くとともに、敬体で書かれた文章を読んでいる。 ・語のまとまりに気を付けて音読している。 ● 思考・判断・表現 ・「読むこと」において、挿絵を手がかりに場面の様子を確かめ、人物の行動や会話をもとに二人の様子を想像することで、お話の大体を捉えている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・お話の大体を捉え、進んで音読を楽しもうとしている。
	のぼすおん 2時間(知技①書①) 教科書:1上pp.40～41 ◇長音を含む語の読み方と書き方を理解し、助詞「を」を使って短い文を作ることができる。〈知技:(1)イ、ウ、ク、B:(1)ウ〉	1 長音を含む単語を、文字と音節の関係を意識しながら読んだり書いたりする。 2 「エ列」「オ列」の長音表記の例外を知る。 3 長音を含む詩を、語のまとまりやリズムに注意して音読する。 4 助詞「を」の読み方や使い方に注意して、簡単な文を作る。	● 知識・技能 ・文字と音節の関係に注意して、長音を含んだ言葉を読み書きしている。 ・助詞「を」の読み方や使い方に注意して、文の中で使っている。 ・語のまとまりやリズムを意識して、長音を含んだ詩を音読している。 ● 思考・判断・表現 ・「書くこと」において、助詞「を」を使い、語と語との続き方に注意して文を作っている。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・長音の含んだ語を、進んで読み書きしようとしている。
6月 (31)	えをみてはなそう 4時間(知技①話聞③) 教科書:1上pp.42～43 ◇四枚の続き絵から、一連のお話として捉え、分かったことや想像したことを伝え合うことができる。〈知技:(1)ア、(2)ア、A:(1)エ、(2)イ〉	1 四枚の絵を見て、誰がいるのか、どんなことをしているかなどを出し合う。 2 ①から④の絵の順序をもとに一連のお話として捉え、どんなことが起きているのかを、ペアで話し合う。 3 絵の中の子どもたちがどんなことを話しているのかを想像し、話し合う。 4 上手く本を取り出すために、本棚をどのように整理すれば良いか考え、伝え合う。	● 知識・技能 ・出来事の内容を表す言葉の働きに気付いている。 ・複数の絵を時間の順序の関係で捉え、一連のお話になっている。 ● 思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、絵から分かったことや想像したことを話し合い、互いの話に関心をもって相手の発言を受けて話をつないでいる。 ● 主体的に学習に取り組む態度 ・絵から想像したことを進んで話し合い、話がつながることを楽しもうとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	かるたをつくろう 3時間(知技①書②) 教科書:1上pp.44～45 ◇主述の関係や語と語との続き方に気を付けて読み札の文を作り、かるた遊びを通して言語感覚を養うことができる。(知技:(1)オ、カ、(3)イ、B:(1)ア、ウ)	1 かるたを作って遊ぶことを知り、読み札を読んだり、かるた遊びのルールを確かめたりする。 2 提示された基本文型を使って、読み札の文を分担して作り、それらに合わせた絵れも作る。 3 作ったかるたで遊ぶ。 4 郷土のかるたなどを知り、地域特有の言語文化に触れる。	●知識・技能 ・身近なことを表す語句を増やすとともに、主語と述語との関係を意識して文を作っている。 ・かるた遊びを通して、言葉による発想を広げたり、言葉の豊かさに気付いたりしている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、身の回りから書く内容を決め、語と語との続き方に注意して読み札の文を作っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・基本文型に従って、意味の明確な文になるように読み札を作り、進んでかるた遊びを楽しもうとしている。
	おはなしをたのしもう たぬきのじてんしゃ 8時間(知技①読⑦) 教科書:1上pp.46～49 ◇場面の様子を想像しながら楽しんで読み、内容の大体をつかむとともに、感想を伝え合うことができる。(知技:(1)ア、ウ、ク、C:(1)イ、オ、カ、(2)イ)	1 題名からどんな物語が想像して興味をもつ。 2 全文を音読し、話の大体をつかむ。 3 工夫して音読したり動作化したりしながら、人物の様子を想像する。 4 好きな場面をグループごとで音読し、聞き合う。 5 音読の良かったところやお話の感想を伝え合う。	●知識・技能 ・出来事の様子を表す言葉の働きや、話し言葉にかぎ(「」)が付いていることに気付いている。 ・語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、人物の行動や場面の様子をもとに、大体の内容をつかんでいる。 ・「読むこと」において、お話の内容と自分の経験を結び付けて感想をもち、友達と伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・物語を楽しんで読み、進んで場面の様子を想像しようとしている。
	ちいさいや・ゆ・よ 2時間(知技①書①) 教科書:1上pp.50～51 ◇拗音を含む語の読み方と書き方を理解し、助詞「へ」を使って短い文を作ることができる。(知技:(1)イ、ウ、ク、B:(1)ウ)	1 拗音を含む単語を、文字と音節の関係を意識しながら読んだり書いたりする。 2 拗音を含んだ言葉を使った詩を、語のまとまりやリズムに注意して音読する。 3 拗音、拗長音、拗促音の読み方や書き方を確かめる。 4 助詞「へ」の読み方や使い方に注意して、拗音一覧を参考にしながら簡単な文を作る。	●知識・技能 ・文字と音節の関係に注意して、拗音を含んだ言葉を読み書きしている。 ・助詞「へ」の読み方や使い方に注意して、文の中で使っている。 ・語のまとまりやリズムを意識して、拗音を含んだ詩を音読している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、助詞「へ」を使い、語と語との続き方に注意して文を作っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・拗音を含んだ語を、進んで読み書きしようとしている。
	えやしゃしんでたしかめながらよもう いきものあし 8時間(書②読⑥) 教科書:1上pp.52～59 ◇絵や写真と文章を結び付けて読み、内容の大体をつかんだり、文と文との続き方を確かめたりすることができる。(知技:(1)カ、キ、ク、B:(1)ウ、C:(1)エ、カ、(2)ウ)	1 動物の足について知っていることを出し合い、興味をもつ。 2 絵や写真と文を結び付けながら全文を音読し、三種の足が取り上げられていることをつかむ。 3 三種の足の詳しい説明が「問いの文」の後にあることに気付く。 4 それぞれの足の、つくりと働きを対応させ、それらが接続語「だから」でつながっていることをつかむ。 5 読んで分かったことやおもしろかったことを伝え合う。 6 生活科で扱った動物や図鑑で調べた動物の足を取り上げ、「問いの文」「つくり」「働き」を意識して文章を書く。 7 学習を振り返る。	●知識・技能 ・文中の主語と述語との関係や敬体の文章を意識して読んでいる。 ・語のまとまりに気を付けて音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、「つくり」と「働き」の事柄の順序を考えながら内容の大体をつかみ、読んで分かったことを伝え合っている。 ・「書くこと」において、呼応の関係や事柄の順序など、文と文との続き方を意識して、テンプレートに従って文章を書いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・絵や写真と文章を結び付けながら進んで読み、内容の大体をつかもうとしている。
	きのうのこと 6時間(知技①話聞①書④) 教科書:1上pp.60～63 ◇経験したことについて、語や文のつながりに注意して文や文章を書くことができる。(知技:(1)ウ、カ、キ、A:(1)エ、イ、B:(1)ア、ウ、オ、(2)イ)	1 昨日の出来事を思い出して話し、それを文章にするという課題をつかむ。 2 昨日のことを思い出し、話したい題材を選ぶ。 3 みんなの前で昨日したことを話し、教師が板書したものを視写する。 4 視写した文をもとに表し方の違いについて話し合い、敬体で書くことを知る。 5 主述の照応や句読点の表記などに注意しながら、昨日の出来事の様子が読み手に伝わるように文章を書く。 6 書いた文章を友達と読み合い、良かったところなど感想を伝え合う。	●知識・技能 ・主述の照応や敬体の文、句読点の打ち方に気を付けて文を書いている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、昨日の出来事や紹介したいことから話題を決め、話す事柄の順序を考えている。 ・「書くこと」において、昨日の出来事や経験したことから書くことを見つけ、語や文の続き方に注意して文や文章を書いている。 ・「書くこと」において、書いた文章について感想を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・経験したことを思い出し、進んで書き表し方に注意して書こうとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
7月 (21)	は・を・へ 3時間(知技①書②) 教科書:1上pp.64～65 ◇助詞「は」「を」「へ」の使い方を理解し、それらを正しく使った文を書くことができる。〈知技:(1)ウ、カ、B:(1)ウ〉	1 提示された文を読み、助詞「は」「を」「へ」の読み方と書き方を知る。 2 「は」と「わ」、「お」と「を」、「え」と「へ」の違いや使い方を理解する。 3 文型に合わせて文を作り、発表し合う。	●知識・技能 ・助詞「は」「を」「へ」の読み方や使い方を理解し、文の中で使っている。 ・主述の関係や句読点の打ち方を理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意し、「は」「を」「へ」を正しく使って文を書いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・助詞「は」「を」「へ」の使い方を理解し、それらを正しく使った文を進んで書こうとしている。
	おはなしをたのしんでよう おおきなかぶ おはなしをふりかえろう ほんをよもう 10時間(読⑩) 教科書:1上pp.66～79 ◇場面の様子や登場人物の行動を想像し、工夫して音読することで物語の世界を楽しむことができる。〈知技:(1)カ、ク、(3)エ、C:(1)イ、エ、カ、(2)イ〉	1 題名や挿絵からお話の内容を想像し、興味をもつ。 2 教師の範読の後、全文を音読し、大体的内容をつかむ。 3 それぞれの場面を読み、登場人物やその登場順を確かめ、場面の様子を想像する。 4 繰り返し出てくる表現に着目し、人物になりきって音読したり動作化したりする。 5 グループで役を決めてせりふや動作を考え、音読劇の練習をする。 6 音読劇の発表会をし、感想を伝え合う。 7 学習の振り返りをする。 8 学校図書館に行き、好きな本を選ぶ。 9 選んだ本を紹介し、音読する。	●知識・技能 ・登場人物に着目し、文の中の主語と述語との関係に注意して読んでいる。 ・繰り返しの表現やリズムに気を付けて音読している。 ・学校図書館で好きな本を選び、物語の世界を楽しむことで読書に興味をもっている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、登場人物の動きを動作化することで場面の様子を具体的に想像し、場面の展開や大体的内容をつかんでいる。 ・「読むこと」において、お話を読んで感じたことや思いを伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・物語を楽しんで読み、進んで音読を工夫しようとしている。
	たのしかぞえよう かぞえうた かんじでかこう かずのかんじ 4時間(知技②書②) 教科書:1上pp.80～83 ◇漢字を使った数の読み方や書き方に慣れ、物の数え方について語彙の量を増やすことができる。〈知技:(1)エ、オ、ク〉	1 数え歌を、言葉の意味を考えながらリズム良く音読する。 2 漢数字の読み方や書き方、助数詞について知る。 3 いろいろな助数詞を使って身の回りにあるものを数え、ノートに書く。 4 グループで数え歌を作り、漢数字や物の数え方に慣れる。	●知識・技能 ・漢数字の読み方や書き方を知るとともに、数や数え方を表す言葉のまとまりに気付いている。 ・語のまとまりやリズムを意識して音読している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら漢数字を使って文を書いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・数え歌や数を漢字で書くことに興味をもち、進んで読んだり書いたりしようとしている。
	えにつきをかこう 4時間(書④) 教科書:1上pp.84～87 ◇経験したことを伝えるための文章を、絵日記の形にして書くことができる。〈知技:(1)ウ、B:(1)エ、ウ、オ、(2)イ〉	1 経験したことの中から書きたいことを考え、ペアで話し合う。 2 書く題材を選び、詳しい内容を思い出す。 3 教科書の例を参考に絵日記を書く。 4 書いた絵日記を読み合い、感想を伝え合う。	●知識・技能 ・長音や拗音などの表記、助詞「は・を・へ」を正しく使って書いている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、経験したことから題材を選び、したことや思ったことを文の続き方に注意しながら、三文程度の文章を書いている。 ・「書くこと」において、書いた絵日記を読み合い、互いの文章の良いところを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・絵日記に興味をもち、友達に伝えるための文章を進んで書こうとしている。
9月 (29)	しをあげよう いるか おさががふねをかきました 2時間(知技①読①) 教科書:1上pp.88～91 ◇詩に描かれた様子を想像し、言葉のリズムや響きを楽しみながら音読することができる。〈知技:(1)ア、ク、C:(1)エ、カ〉	1 「いるか」を、繰り返しや韻などの表現を楽しみながら音読する。 2 「おさががふねをかきました」を、律などの表現を楽しむとともに、自分がさるだったらと想像しながら音読する。 3 グループで「いるか」「おさががふねをかきました」のどちらかを選び、音読を発表して交流する。	●知識・技能 ・詩の内容を表す言葉の働きに気付いている。 ・語のまとまりやリズムに気を付けて音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、様子を想像しながら読み、感じたことを伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで詩を読み、音読を楽しもうとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	1 みんなのまえではなそう はなしたいな、なつやすみの こ と 6時間(話聞⑥) 教科書：1上pp.92～95 ◇経験した出来事から話題を決め、相手に伝わるように話の順序を考え、声の大きさや速さを工夫して話すことができる。〈知技：(1)ア、イ、キ、A：(1)ア、イ、ウ、(2)ア〉	1 学習課題と進め方を確かめる。 2 教師のショー・アンド・テルによるモデルスピーチを聞き、具体的なイメージをもつ。 3 夏休みの出来事を思い出し、スピーチの話題を決める。 4 伝えたいことをカードに一文ずつ書き、話す順序を考える(スピーチする時に見せたいものや写真を準備する)。 5 夏休みの思い出発表会を開き、ショー・アンド・テル方式でみんなの前で話す。 6 友達のスピーチについて質問したり感想を伝え合ったりする。 7 話す時に気を付けたことなど、学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・経験したことを伝える言葉の働きに気付いている。 ・聞き手に伝わるように、みんなに聞こえる声の大ききさで、はっきりと丁寧な言葉で話している。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、経験したことから話題を選び、話す順序や提示するものと考えて、聞き手に伝わるように声の大きさや速さを工夫して話している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・クラスの友達に伝えることに対して興味をもち、聞き手に伝わるように、進んで話そうとしている。
	2 みつけてみよう はまべでひろったよ 6時間(読⑥) 教科書：1上pp.96～101 ◇主語と述語との関係や語句のまとまりに注意して読み、事柄の順序や文章構成上の順序を考えながら文章の大体を捉えることができる。〈知技：(1)ア、オ、カ、(2)ア、C：(1)エ、ウ〉	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 海に行った経験や知っていることを出し合う。 3 問いの文を見つけ、何を説明しようとしている文章なのかを確かめる。 4 「何が」の文に着目して表に書き出し、語句のまとまりに気付く。 5 「どのように」の文に着目して、述べ方の順序を確かめる。 6 書きぶりの違いから、事物の内容を表す言葉の働きを確かめる。 7 叙述をもとに、もともと海にない事物への筆者の反応(と事柄の順序)を捉え、感想を述べ合う。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・語句のまとまりや主語と述語との関係、事物を表す言葉の働きに気付いている。 ・事柄の順序(「海草・貝・木の実」)に気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、「はじめ」「しかし」「そして」の言葉や問いの文を手がかりに、何がどんな順序で書かれているのかを捉えている。 ・「読むこと」において、大事な語を表に書き出している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・説明文を楽しんで読み、書かれている内容を進んで確かめようとしている。
	ことば かたかなをみつけよう 2時間(知技②) 教科書：1上pp.102～103 ◇片仮名の表記を理解し、正しく読むとともに、片仮名で書く言葉を見つけて書くことができる。〈知技：(1)ウ〉	1 片仮名で書く言葉を絵から見つけ、読んだり書いたりする。 2 片仮名の長音と促音、拗音の書き方を確かめる。 3 身の回りから片仮名で書く言葉を見つけ、教科書pp.135～136の折り込みページを参考にしながらノートに書く。	●知識・技能 ・片仮名で書く語句を知り、片仮名を正しく読み書きしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りから、片仮名で書く言葉を進んで見つけようとしている。
	3 かんさつしたことをかこう がっこうでみつけたよ 10時間(書⑩) 教科書：1上pp.104～109 ◇学校で見つけた動植物を観察し、気が付いたことをもとに観察記録文を書くことができる。〈知技：(1)ア、オ、B：(1)エ、ウ、エ、(2)ア〉	1 学習課題と進め方を確かめる。 2 学校の中で見つけた動植物の様子を観察し、ノートに書き出したものから詳しく書きたいものを選ぶ。 3 観察の観点を確かめ、気付いたことをカードにまとめる。 4 カードをもとに、文章に表す方法を考える。 5 見つけた事柄を、カードをもとに1つずつ文にする。 6 書いた文章をどんな順序にするか考え、その順序に沿って記録文を書く。 7 書いた文を声に出して読み、文字が正しく書けているかなどを確かめる。 8 書いた文章を、友達と読み合ったり、家の人に読んでもらったりする。 9 観察して気が付いたことを、文章で説明することができたかを振り返る。	●知識・技能 ・観察した内容を表す言葉の働きに気付いている。 ・観察した動植物や気付いたことを表す語句の量を増やし、文章の中で使っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、観察したことから書くことを見つけ、記録文を書くための事柄をカードにまとめている。 ・「書くこと」において、一文の意味が分かるように、色や形などについて、つながりを考えて文を書いている。 ・「書くこと」において、書いた文章を声に出して読み、文字が正しく書けているかなどを確かめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りの動植物をよく観察し、気付いたことを進んで観察記録文に書こうとしている。
	ことばをききとろう 「ぬりえゲーム」をしよう 3時間(話聞③) 教科書：1上pp.110～111 ◇ぬり絵を完成させるために、大事なことを落とさずに話し手のヒントを聞くことができる。〈知技：(1)ア、A：(1)エ〉	1 ぬり絵ゲームのやり方を確かめる。 2 一回目のぬり絵ゲームを行う(先生が出すヒントを聞き、ぬり絵を完成させる)。 3 正しく完成させることができたか、確かめる。 4 二回目のぬり絵ゲームを行う(グループごとに配られたヒントカードに書かれたヒントを伝え合い、ぬり絵を完成させる)。 5 正しく完成させることができたか、確かめる。 6 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・様々な事柄を表す言葉の働きに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、ぬり絵を完成させるための情報を落とさないよう、集中して聞いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・ぬり絵を完成させるために、進んで相手のヒントを聞こうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
10月 (10)	ことばのいずみ1 かんじのできかた 2時間(知技②) 教科書: 1上pp.112～113 ◇1年生に配当されている漢字の字形や成り立ちを理解することができる。〈知技:(1)エ〉	1 教科書p.112の解説や例示されている漢字を見て, 物の形からできた漢字について確かめる。 2 教科書p.113の解説や例示されている漢字を見て, 印からできた漢字について確かめる。 3 新出漢字の字形や筆順に注意しながら, 書く練習をする。	●知識・技能 ・1年生に配当されている漢字を読み書きし, 文や文章の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで漢字の字形や成り立ちを確かめ, 学習課題に沿って, 1年生配当漢字を文や文章の中で適切に使おうとしている。
	むかしばなしをよもう さるじぞう おはながいっぱい 8時間(知技⑤読③) 教科書: 1上pp.114～123 ◇昔話の世界を楽しみ, 場面の様子を想像しながら読むことができる。〈知技:(1)ク, (3)エ, C:(1)イ, (2)イ〉	1 これまでに読んだ昔話について, 知っていることを出し合い, 「さるじぞう」の題名から内容を想像する。 2 教師の範読を聞き, 内容や繰り返し表現など, おもしろかったところを伝え合う。 3 役割を決め, グループで音読を楽しむ。 4 音読を発表し, 感想を伝え合う。 5 学習を振り返る。 6 挿絵を見て, 知っているお話について話し合い, 読書に興味をもつ。 7 昔話の読み聞かせを聞いたり, 好きな本を選んで読んだりする。 8 地域の民話を知ったり, 語りを聞いたりする。	●知識・技能 ・リズムや言い回しに気を付けて音読している。 ・昔話の読み聞かせを聞き, 言語文化に触れることを楽しんでいる。 ・様々な昔話があることを知り, 読書に興味をもっている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 場面の様子や登場人物の行動をもとに, 内容の大体をつかんでいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・昔話に親しみ, 進んで読もうとしている。

年間指導計画案(1年下巻)

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
10月 (17)	うみはごきげん 1時間(読①) 教科書:1下pp.①～1 ◇詩に描かれた様子を想像し、語のまとまりごとに意味を考えながら音読することができる。〈知: (1)ア, 2. C: (1)エ〉	1 「うみはごきげん」の様子を想像しながら音読し、おもしろかったところを出し合う。 2 擬態語や擬人法などの表現を楽しみながら、動作化するなどして工夫して音読する。 3 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・語のまとまりを捉えながら音読している。 ・詩の内容が言葉で表され、それぞれの言葉が意味をもっていることに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、詩に描かれた様子を想像しながら読んでいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・語のまとまりに気を付けながら、進んで音読しようとしている。
	1 くらべてよう くらしをまもる車 6時間(読⑥) 教科書:1下pp.6～11 ◇事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、大事な語や文を捉えることで、同じところや違うところを見つけることができる。〈知技: (1)ア, カ, ク, (2)ア, C: (1)エ, ウ, オ, (2)ア〉	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 見たことのある自動車について出し合い、教材文に関心をもつ。 3 問いの文を見つけ、それぞれの車の「働き」と「つくり」を意識する。 4 表にまとめることで、大体の内容をつかむ。 5 事例同士を比べて考える。 6 接続語に着目し、「働き」と「つくり」の事柄の順序を捉える。 7 「働き」に着目して、身の回りの車と生活とのつながりを考え、題名「くらしをまもる車」について考える。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・言葉の働きや主語と述語との関係に注意するとともに、言葉のまとまりを意識して音読している。 ・事柄の順序の關係に注目し、それらが「そのために」の言葉でつながっていることに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、事柄の順序を考えながら内容の大体を理解している。 ・「読むこと」において、文章の中から必要な語や文を選び出して、それぞれの違いを確かめ、「働き」について自分の感想をもっている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで事柄の順序を考えたり、大事な語や文を捉えたりしようとしている。
	しらべてかこう のりものしらべをしよう 8時間(書⑧) 教科書:1下pp.12～15 ◇知っている乗り物を図鑑などで調べ、分かったことをまとめた文章を紹介し合うことができる。〈知技: (1)ア, ウ, (2)ア, B: (1)ア, イ, エ, オ〉	1 学習課題と進め方を確かめる。 2 知っている乗り物を出し合い、調べる乗り物を決める。 3 選んだ乗り物について、図鑑で調べて重要な語や文を選び出し、「働き」と「つくり」に分けて表にまとめる。 4 表をもとに順序に気を付けて文章を書き、絵も描く。 5 書いた文章を友達と読み合い、分かったことを説明し合ったり感想を伝え合ったりする。 6 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・乗り物のつくりや、働きなど、事物の内容を表す言葉の働きに気付いている。 ・長音や拗音などの表記、句読点の使い方を理解し、文章の中で使っている。 ・乗り物の「働き」と「つくり」の關係に気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、調べたことを分かりやすくまとめるために必要な事柄を選び、構成や文と文との続き方に注意して書いている。 ・「書くこと」において、書いた文章を友達と読み合い、良いところを伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・乗り物の「働き」と「つくり」を調べ、その關係がよく分かるように文章を書こうとしている。
	しらべよう まとめよう ずかんをつかってしらべよう 2時間(読②) 教科書:1下pp.16～17 ◇知っている乗り物を図鑑などで調べ、分かったことを伝え合うことができる。〈知技: (3)エ, C: (1)エ, (2)ウ〉	1 目次と索引の仕組みを知り、課題に取り組む。 2 調べたい事柄を図鑑を使って調べ、表にまとめる。 3 調べて分かったことを説明し合う。	●知識・技能 ・図鑑を通して知識を広げ、読書に親しんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考え、選び出し、まとめて分かったことを説明している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで図鑑の使い方を確かめ、学習課題に沿って読書に親しもうとしている。
11月 (29)	ことばのきまり1 文のかたち 2時間(知技①書①) 教科書:1下pp.18～19 ◇文の型や主述の關係を理解することができる。〈知技: (1)カ, B: (1)ウ〉	1 教科書p.18の絵を見て文を作り、友達と出し合う。 2 教科書を読み、作った文の形を確かめる。 3 p.19上・下段の課題に取り組み、作った文を友達と確かめ合う。 4 主語と述語との關係に気を付けて、いろいろな文を作り、出し合う。	●知識・技能 ・文の中における主語と述語との關係に気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで主語と述語との關係を確かめ、今までの経験を生かして、文を適切に作ろうとしている。
	ことばのいずみ1 かたかな 3時間(知技③) 教科書:1下pp.20～23 ◇片仮名を読んだり書いたりするとともに、片仮名で書く言葉の種類を理解することができる。〈知技: (1)エ〉	1 教科書p.20の例文の中から片仮名を見つけて出し合い、例文を音読する。 2 片仮名で書く言葉の種類を知る。 3 片仮名表を見て片仮名を読んだり、マス目に書いたりする。 4 身の回りから片仮名で書く言葉を見つけ、ノートに書き出す。	●知識・技能 ・片仮名で書く語の種類を知り、片仮名を読み書きしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで片仮名で書く語の種類を理解し、学習課題に沿って、片仮名を適切に使うようとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	2 みんなではなしあおう クイズ大会をしよう 6時間(話聞⑥) 教科書: 1下pp.24～27 ◇相手の発言を受けて話をつながながら話し合うことができる。 (知技:(1)ア, A:(1)エ, (2)イ)	1 学習課題と進め方を確かめる。 2 先生が出すヒントを聞き, クイズ大会の大きなルールをつかむ。 3 グループで話し合い, 出すクイズの答えを決める。 4 三つのヒントを決めるための話し合いの仕方を確かめ, グループで話し合う。 5 三つのヒントをどの順番で言うのかを決め, 練習して確かめる。 6 作ったクイズをもとにクイズ大会を行い, ヒントの出し方について話し合う。 7 グループで考えを出し合ってまとめるときに大切なことなど, 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・事物の内容を表す言葉の働きに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において, 相手の発言に質問したり, 繰り返して確かめたりしながら話をつなげている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・互いの話に関心をもち, 進んで話をつなげようとしている。
	3 ようすをおもいうかべてよう はじめは「や!」 9時間(読⑨) 教科書: 1下pp.28～39 ◇場面の様子に着目し, 人物の行動を具体的に想像しながら内容の大体を捉え, 自分の体験と結び付けて, 感想を伝え合うことができる。(知技:(1)ア, カ, ク, C:(1)イ, エ, オ, カ, (2)イ)	1 全文を読み, めあてを確かめる。 2 初発の感想を交流する。 3 挿絵をもとに, 人物の言動やお話のすじを確かめ, 全体のあらましをつかむ。 4 二つの場面の様子を比べ, 様子が変わるきっかけとなる場面の行動やわけについて想像する。 5 読んで理解したことをもとに, 工夫して音読する。 6 どんな気持ちを込めて音読したのかを伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・読み取ったことをもとに, 自分の経験を関連させて自分の言葉で伝えている。 ・主語と述語との関係や語のまとまりに注意して音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 場面の様子や人物の行動について具体的に想像しながら全体を押さえている。 ・「読むこと」において, 読み取ったことをもとに自分の経験と結び付けて感想を伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・場面の様子について楽しみながら想像し, 進んで読もうとしている。
	ことばのいずみ2 日づけとよう日 2時間(知技②) 教科書: 1下pp.40～41 ◇日付や曜日など, 身近なことを表す言葉について理解し, 読んだり書いたりすることができる。(知技:(1)エ, オ)	1 教科書pp.40～41の解説や例文を読み, 日付と曜日の読み方を知る。 2 新出漢字の字形や筆順に注意しながら, 書く練習をする。 3 日付や曜日を表す言葉を使った文やクイズを作り, 友達と出し合う。	●知識・技能 ・1年生の配当漢字を読み書きし, 文や文章の中で使っている。 ・身近なことを表す語句の量を増し, 語彙を豊かにしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで日付や曜日を表す言葉の量を増やし, 今までの学習を生かして, 文や文章の中で使おうとしている。
	ゆたかにひょうげんしよう 見て, きいて, さわって 7時間(書⑦) 教科書: 1下pp.42～43 ◇身の回りのものから題材を決め, 五感で感じたことや思ったことをもとに, 短い詩を書くことができる。(知技:(1)ア, オ, B:(1)エ, オ)	1 モデルの詩を読み, 気付いたことや面白い表現について出し合う。 2 身の回りから詩に書きたいものを選ぶ。 3 書きたいものを観察し, 五感で感じたことをメモに書き出す。 4 メモをもとに詩を創作する。 5 友達と読み合い, 感想を伝え合う。 6 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・経験や五感で感じたことを詩に表す言葉の働きに気付いている。 ・身近なことを表す語句を使い, 語彙を豊かにしている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 身の回りのものを観察して感じたことを書き留め, それを短い詩に表している。 ・「書くこと」において, 書いた詩を友達と読み合い, 感想を伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りのことを観察して感じたことを, 進んで詩に表そうとしている。
12月 (19)	4 じゅんじょをたしかめながら よう まめ 5時間(読⑤) 教科書: 1下pp.44～49 ◇時間の順序や事柄の順序を考えながら内容の大体を捉え, 文章の中の大事な語や文を選び出すことができる。(知技:(1)ア, カ, (2)ア, C:(1)ア, エ)	1 全文を読み, めあてを確かめる。 2 植物や野菜などの成長について, 知っていることを出し合う。 3 写真を手がかりに順序を確かめ, 文章の大体をつかむ。 4 表をもとに, 時間の順序と成長していく様子との関わりを捉える。 5 「へそ」に着目し, 人間のへそと比べ, その役割を考える。 6 冒頭の問題提示文が結論の要素を含み, それを証明するための説明文であることを捉え, 命のつながりについて考える。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・主語と述語との関係や順序を表す接続語の働きに気付く, 文章内容を読み取っている。 ・時間の順序と並行して育つ順序が述べられていることに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 文章と写真を関連させて読み, 事柄の順序と内容の大体をつかんでいる。 ・「読むこと」において, 文章の中の大事な語や文を選び出し, 表にまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・順序に気を付けて, 進んで文章内容を理解しようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	文しょうのかきかた・まとめかた まる(。), てん(。), かぎ(「」)の つけかた 3時間(知技①書②) 教科書:1下pp.50～51 ◇句読点やかぎ(「」)の使い方 を理解し、適切な表記で文章を 書くことができる。〈知技:(1) ウ, B:(1)エ〉	1 例示された文を読み、読みにくさの理由を考え、出し合う。 2 例示された文に句読点やかぎ(「」)を付ける。 3 句読点やかぎ(「」)を付けた文章を友達と読み合う。 4 句読点やかぎ(「」)の付け方を理解し、読みやすさに気付く。 5 最近の出来事や身の回りのことについて、句読点やかぎを使った文章を書く。 6 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・句読点やかぎ(「」)の使い方を理解し、文章を整えている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、文章の間違いを正し、適切な表記の文章に整えることで、読みやすくなることを実感している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで間違いを正し、適切な表記の文章を書こうとしている。
	ことばのきまり2 よみやすくなるために 2時間(知技②) 教科書:1下pp.52～53 ◇句読点の打ち方や平仮名と片 仮名の使い分けを理解し、文や 文章の中で使うことができる。 (知技:(1)ウ)	1 教科書p.52上段の例文を読み比べ、句読点があることで読みやすく、意味が分かりやすくなることを知る。 2 p.52下段の例文を読み比べ、読点を付ける位置によって意味が変わってしまう場合があることを知る。 3 p.53の課題に取り組み、作った文章を友達と確かめ合う。 4 p.53下段の例文を読み比べ、気付いたことを出し合い、句読点だけでなく、平仮名、片仮名、漢字を使うことで読みやすくなることを知る。	●知識・技能 ・句読点を打ったり平仮名と片仮名を使ったりすることによる読みやすさを理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで句読点や平仮名・片仮名を使う良さを知り、今までの学習を生かして、読み手に伝わりやすい文を書こうとしている。
	きょうをのこそう にっきをかこう 6時間(書⑥) 教科書:1下pp.54～55 ◇その日の出来事から書くこと を見つけ、書くことを明らかにす るとともに、文と文との続き方や 表記に気を付けて日記を書くこと ができる。〈知技:(1)ア, ウ, カ, B:(1)ア, エ, (2)イ〉	1 学習課題を確かめ、学習の見通しをもつ。 2 教科書の文例を参考に、学校や家庭で経験した出来事から書くことを考える。 3 書きたい出来事を決め、したことや思ったこと、周りの様子などを思い出し、一つずつカードに書く。 4 カードを並べ、順序を考えて文章を書く。 5 書いた文章を、声に出して読んで確かめる。 6 文章を互いに読み合い、感想を伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・経験したことを伝える言葉の働きに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・助詞やかぎ(「」)の使い方や句読点の打ち方、主語と述語との関係を理解し、文章の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・その日の出来事や感じたことを、進んで日記に書こうとしている。
	どくしょをひろげよう どくしょびじゅつかんをつくろう どくしょのへや 3時間(知技②読①) 教科書:1下pp.56～59 ◇好きな本の印象に残った場面 を絵にして紹介し合うことで、読 書の楽しさに気付くことができ る。〈知技:(3)エ, C:(1)カ, (2)イ〉	1 教科書本文を読み、学習課題を確かめる。 2 好きな本を選び、印象に残っている場面の絵を描く。 3 絵の題名を考え、絵に付けるカードを書く。 4 読書美術館に掲示した作品を見合い、作品の良さや本を読んだ感想を伝え合う。 5 紹介された本に興味をもったり読書の部屋を見たりして、読書への意欲をもつ。	●知識・技能 ・友達が描いた絵を通していろいろな本があることを知り、読書に興味をもっている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、好きな本について感想を伝え合い、読書の楽しさを分かち合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・好きな本の良さを伝えるために、進んで絵に表して紹介し合い、読書に親しもうとしている。
1月 (21)	みんなにつたえよう ふゆ休みにしたよ 2時間(話聞②) 教科書:1下pp.60～61 ◇経験したことから話題を決め て出来事を順序立てて考え、聞 き手を意識しながら話し方を工 夫して話すことができる。〈知技: (1)エ, イ, オ, キ, A:(1)ア, イ, ウ〉	1 挿絵を見て、冬休みの経験を具体的にイメージする。 2 モデル文を参考に学習課題をつかみ、冬休みの出来事を思い出して話題を決める。 3 スピーチの組み立てを考える。 4 表現を工夫して話す。 5 友達のスピーチについて感想を伝え合う。 6 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・言葉には経験したことを伝える働きがあることに気付くとともに、身近なことを表す語彙を増やしている。 ●思考・判断・表現 ・相手に分かりやすく伝えるために、はっきりとした声で丁寧な言葉を使って話している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・「話すこと・聞くこと」において、冬休みの思い出から話題を選び、したことを順序立てている。 ・「話すこと・聞くこと」において、聞き手に伝わるように声の大きさや速さを工夫して話している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・みんなに伝えたいことを選び、聞き手に伝わるように進んで話そうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	5 つながりをかんがえてよう めだかのぼうけん 7時間(読⑦) 教科書:1下pp.62～71 ◇時間の順序を表す言葉に着目し, 事柄同士の関係を考えながら内容の大体を捉え, 分かったことや感想を伝え合うことができる。〈知技:(1)カ, (2)ア, C:(1)ア, 九, (2)ア〉	1 全文を読み, めだかを確かめる。 2 めだかについて知っていることを出し合い, 教材文に興味をもつ。 3 時間の順序に沿って「田んぼ」と「めだか」の様子をカードにまとめ, 全体を捉える。 4 叙述をもとに, 書かれていない部分を想像で補い, 読みを深める。 5 めだかの様子や人為的な理由による住環境の変化について捉え, 「田んぼ」と「めだか」のつながりを考える。 6 題名に着目し, 読んで理解したことをもとに短い文にまとめ, 着目した叙述や感想について伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・主語と述語との関係に気を付けて, 「田んぼ」と「めだか」の様子を正確に読み取っている。 ・季節の順序に沿って, 「田んぼの様子」「めだかの様子」の事柄の順序で説明され, それぞれが関わり合っていることに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 順序を表す言葉をもとに文章の大体を捉え, つながりなど読んで分かったことを伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・順序やつながりを意識して, 進んで読もうとしている。
	そうぞうをひろげよう 「音」をさがしておはなしづくり 12時間(書⑫) 教科書:1下pp.72～75 ◇身の回りから集めた「音を表す言葉」を使って物語を書き, 感想を伝え合うことができる。〈知技:(1)ア, オ, B:(1)ア, 十, (2)ウ〉	1 学習課題と進め方を確かめる。 2 「音を表す言葉」を探し, どこから聞こえる音かを考える。 3 見つけた言葉を使って文を作る。 4 作った文を友達と読み合う。 5 作った文を使って, 教科書の例を参考に短い物語を書く。 6 書いた物語を友達と読み合い, 感想を伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・「音を表す言葉」の働きに気が付いている。 ・音を表す言葉の量を増やし, 語彙を豊かにしている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 身の回りから「音を表す言葉」を集め, 集めた言葉を使って簡単な物語を書いている。 ・「書くこと」において, 書いた物語を友達と読み合い, 良いところを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りから「音を表す言葉」を進んで使って, 物語を書こうとしている。
2月 (23)	ことばのいずみ3 まとめてよぶことば 2時間(知技②) 教科書:1下pp.76～77 ◇意味によって言葉をまとめられることを理解し, 上位語と下位語の関係に気付くことができる。〈知技:(1)ア, 十〉	1 教科書p.76上段の例文を読み, なぜおじさんが「わからない。」と言ったのかを出し合う。 2 p.76下段の解説を読み, 意味による語句のまとまりや, 上位語と下位語の関係を理解する。 3 p.77の課題に取り組み, 友達と確かめ合う。 4 身の回りから, 上位語・下位語の関係になる言葉を見つけて表にまとめ, 発表する。	●知識・技能 ・言葉には, 事物の内容を表す働きがあることに気付いている。 ・身近なことを表す語句の量を増すとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで上位語と下位語の関係を理解し, 今までの学習を生かして, 言葉を使い分けようとしている。
	ことばをおくろう ありがとうをとけよう 6時間(書⑥) 教科書:1下pp.78～79 ◇身近な人に感謝の気持ちを伝えるために, カード形式の簡単な手紙を書くことができる。〈知技:(1)ア, ウ, B:(1)エ, (2)イ〉	1 手紙を書いたりもらったりした経験を出し合う。 2 上級生にカード形式の手紙を書いて渡すという学習課題をつかむ。 3 教科書の例を参考に, 書き方を理解する。 4 感謝の気持ちが伝わるようにカードに書く。 5 書いたカードを声に出して読み, 字の間違いや言葉の使い方に誤りがないか確かめる。 6 先生や家の人など, 他にも感謝の気持ちを伝えたい人にカードを書いて渡す。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・経験したことや気持ちを伝える言葉の働きに気付いている。 ・助詞の使い方や句読点の打ち方などを理解し, 文章の中で使っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 書いた文章を声に出して読み返し, 間違いを正したり, 文と文との続き方を確かめたりしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・身近な人への感謝の気持ちを, 進んで書き表して伝えようとしている。
	ことばのいずみ4 ひつじゅんとにているかん字 3時間(知技③) 教科書:1下pp.80～81 ◇筆順や似ている漢字に気を付けて, 漢字を正しく読み書きすることができる。〈知技:(1)エ〉	1 教科書p.80上段の解説を読み, 漢字には筆順があることを知る。 2 p.80下段に示された漢字を比べ, 類似点や相違点に気を付けて, 正しい筆順で書く。 3 p.81上段の課題に取り組み, 筆順や字形に気を付けて漢字を書く。 4 形の似ている漢字や, 筆順の間違いやすい漢字を, 教科書の巻末ページなどから探し, 文を作る。	●知識・技能 ・1年生に配当されている漢字を読み書きし, 文や文章の中で使っている。 ・概形や筆順に注意しながら, 漢字を正しく書いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで漢字の概形や筆順を確かめ, 学習課題に沿って, 正しく読み書きしようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	6 じゅんじょよくかこう おてつだいをしたよ 12時間(書⑫) 教科書:1下pp.82～85 ◇経験したお手伝いの中から書きたいことを選び、順序に沿ってつながりのある文章を書くことができる。〈知技:(1)ア、ウ、(2)ア、B:(1)ア、イ、ウ、オ、(2)ア〉	1 学習課題と進め方を確かめる。 2 日頃しているお手伝いやしたことのあるお手伝いの中から、書いて伝えたいことを選ぶ。 3 選んだお手伝いについて、したことや思ったこと、周りの様子などを思い出して、ノートに書き出す。 4 したことを順序に気を付けて表にまとめ、そのときに思ったことを照応させて表に書き入れる。 5 表をもとにpp.84～85のモデル文を参考にしながら文章を書く。 6 書いた文章を声に出して読み、書き間違いがなにかなどを確かめる。 7 友達と互いに読み合い、感想を伝え合う。 8 順序に沿って分かりやすい文章を書くことができたかを振り返る。	●知識・技能 ・経験したことを表す言葉の働きに気付いている。 ・助詞の使い方や句読点の打ち方を理解し、文章の中で適切に使っている。 ・経験したことの作業手順や時間の順序の関係を理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、経験したことから書くことを決め、思い出した事柄を順序に沿ってまとめている。 ・「書くこと」において、経験したことが順序良くつながるように文章を書いている。 ・「書くこと」において、書いた文章を読み合い、感想を伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・経験したことを順序やまともに注意して、進んで文章に書こうとしている。
3月 (17)	7 ばめんのようすをおもいうかべてよう ろくべえまってるよ 12時間(読⑫) 教科書:1下pp.86～104 ◇場面の様子に着目して人物の行動を具体的に想像しながら内容の大体を捉え、好きな場面を工夫して音読し、感想を伝え合うことができる。〈知技:(1)ア、ク、C:(1)イ、エ、カ、(2)イ〉	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 初発の感想を交流する。 3 人物の行動をもとにお話のすじを捉え、全体のあらましを確かめる。 4 場面ごとの様子を、叙述をもとに具体的に想像する。 5 読み取ったことをもとに役割音読する。 6 表現の良さについて伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・人物の行動や気持ちが、言葉で表されていることに気付いている。 ・語のまともに気を付けて、好きな場面を音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、場面の様子や人物の行動について、具体的に想像しながら全体を押さえ、音読を通して感じたことを伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・想像した場面の様子がよく伝わるように、進んで音読の仕方を考えようとしている。
	かん字のひろば 1時間(知技①) 教科書:1下p.105 ◇1年生に配当されている漢字を読み書きし、文中の使い方を理解することができる。〈知技:(1)エ〉	1 傍線の言葉に注意して、教科書の例文を読む。 2 新出漢字を書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・1年生に配当されている漢字を読み書きし、文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで1年生に配当されている漢字を読み、今までの学習を生かして、文の中で使おうとしている。
	これからのあなたへ うれしかった 1時間(読①) 教科書:1下pp.106～107 ◇詩に描かれた様子を想像し、自分の経験と結び付けて感想をもつことができる。〈知技:(1)ア、C:(1)オ〉	1 「うれしかった」に描かれた様子を想像し、繰り返しによる世界の広がりや擬人法などの表現を楽しみながら音読する。 2 詩から受け取った喜びの感情を、自分の成長過程と結び付けて感想を出し合う。 3 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・言葉が思いを表現する働きをもっていることに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、詩から読み取ったことをもとに、自己の成長と結び付けて感想をもっている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・楽しんで詩を読み、自己の成長の喜びを感じようとしている。
	一年生をふりかえって 3時間(書③) 教科書:1下p.108 ◇一年間の国語学習を振り返り、頑張ったことやこれからも続けたいことを考えて書くことができる。〈知技:(1)ウ、カ、B:(1)ウ、オ〉	1 1年生の国語学習を思い出し、頑張ったことやこれからも続けていきたいことを友達と話し合う。 2 p.108の作文例を読み、書き方をつかむ。 3 書くことをメモにまとめ、順番に考える。 4 文章をノートに書く。 5 友達と読み合い、感想を伝え合ったり、家の人に読んでもらったりする。 6 学習の振り返りをし、これからの学習について話し合う。	●知識・技能 ・句読点の打ち方やかぎ(「」)の使い方を理解するとともに、主語と述語との関係に注意して書いている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意して書き、互いの文章について感想を伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・一年間の国語学習を振り返り、頑張ったことを思い出して書いてまとめようとしている。